

大規模災害への対応力の強化

令和元年 11月

【担当省庁】国土交通省

紀伊半島アンカールートの道路整備等の推進

○広域幹線道路ネットワーク整備の加速

①京奈和自動車道

大和北道路 奈良北IC～郡山下ツ道

⇒ 用地取得等の促進とトンネル工事の早期着手

大和御所道路 檀原・高田間

⇒ 大和高田バイパスへの早期連結 等

②国道168号 五條新宮道路

十津川道路：令和元年9月16日 全線開通

⇒ 十津川道路(Ⅱ期)の権限代行による令和2年度新規事業化



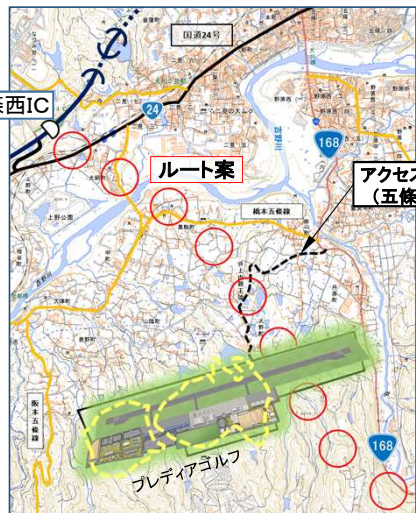
③国道169号

伯母峯峠道路 ⇒ トンネル工事の早期着手

○道路法面对策、橋梁耐震化の推進

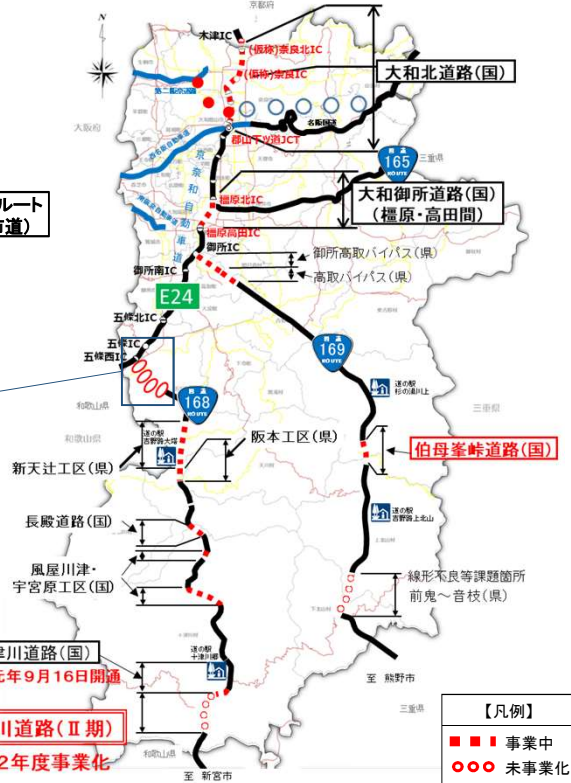
①通行止が多発している国道168・169号の法面对策の加速

②南海トラフ地震等に備え、5年以内の対応が必要な橋梁耐震化の整備



【大規模広域防災拠点(イメージ)】

南海トラフ巨大地震等が発生した際、県内外からの大量の人的・物的支援を受け入れて迅速に支援



【凡例】
■ 事業中
○ 未事業化

大和川の外水・内水の緊急対策の推進

(1)外水対策(ながす対策)

①大和川流域整備計画に基づき、大和川本川はS57豪雨対応(1/30相当)、支川は計画規模1/10で、河道掘削、樹木伐採などを推進
⇒ 『3か年緊急対策』に基づき加速

②直轄遊水地は、5箇所で開催されており、川西町保田地区、安堵町窪田地区を優先的に整備
⇒ 早期工事着手、残る地区の用地買収着手

(2)内水対策(ためる対策)

奈良県平成緊急内水対策事業として、内水による床上・床下浸水被害解消ため貯留施設を整備(1/10対応)

⇒ 平成30年度にキックオフし、貯留施設の適地候補地を選定
令和元年度より、ステージ2(工事着手)へ移行
(10月に田原本町で起工式を開催)

※令和元年度 工事着手:2箇所

(3)緊急対策の推進

台風19号被害に鑑み、想定を超える豪雨(1/100)にも対応するため、大和川総合治水対策のグレードアップの検討が必要

⇒ 設計外力の見直し
住民の避難行動につながるソフト対策の充実

国にお願いすること

本県における大規模災害への対応力の強化に向け、

⇒ 社会資本整備総合交付金の確保

⇒ 今年度補正予算の早期編成及び令和2年度予算の重点配分

⇒ 「3か年緊急対策」の継続・拡充